

会議録（要点記録）

会議名称	令和7年度 第2回小金井市精神保健福祉連絡協議会 部会		
開催日時	令和7年8月6日（水） 10：00～11：15		
開催場所	オンライン		
出席者等	委員：赤濱委員、鈴木（絵）委員、山岡委員、石川委員、鈴木（澄）委員、高橋委員 事務局：自立生活支援課長、相談支援係長、相談支援係主任 その他：執行委員		
傍聴の可否	不可	傍聴者数	—
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 精神保健福祉連絡協議会で抽出された課題について (2) 事業所近況報告 (3) その他 3 閉会		
会議結果	1 開会 2 議題 (1) 精神保健福祉連絡協議会で抽出された課題について ○事務局 資料1～4の内容について説明。 （議論） ○事務局 障害福祉のみの居宅介護を行う事業所があるか把握しているか。 ○委員 連絡会などは存在しないが、業務を通じてそのような事業所が存在していることは把握しているがすべてではない。 ○委員 ヘルパー事業所の連絡会は存在するか。 ○事務局 障害部門では存在しない。事業所の実態を把握するのは困難である。ただし介護保険部門では存在するようだ。 ○委員 国分寺市では事業所の新設が規制されていると聞いたが小金井市ではどうか。 ○事務局 そのような規制は設けていない。市内はGHに限らずすべての事業所が不足しているとの認識。 ○委員 小金井市のGHは一戸建てタイプが多く定員が少ない傾向があると思う。また市に広い土地がなく小規模になってしまう傾向があるのではないか。 ○委員 ヘルパー事業所と協議していると、精神障害のある方の場合利用者都合の急なキャンセルが多く、苦慮しているとの意見を聞いたことがある。これも支援を困難にする理由ではないか。 ○事務局 キャンセルについては資料2に追加し本会に報告する。		

	○委員 協議会の議論対象の精神障害者にも対応した包括ケアシステム構築の柱は2つ、地域移行の促進、ピアの活動。1つめの地域移行の実績についてはいずれ公表され、他自治体と比較される時が来ると思っていた。また以前都内のブロック会議で他自治体関係者の前で小金井市の対応が遅れていると批判されたことがあった。その後地域移行に取り組もうと事業を立ち上げ今日まで支援してきた。最近是指摘されることはなくなった。2つめのピア活動。こちらも取り組みについて明示される時期が来ると思う。令和7年9月11日に開催される地域生活移行支援会議の会議で初めてピア活動に関する議題が出ることとなった。今後課題となる項目だと見ている。 ○事務局 話し合われた内容については事務局で内容を精査し、協議会会長に報告、協議のうえ本会に提案する対応とさせていただく。 (2) 事業所近況報告 ・精神疾患について未治療の方の相談が増加傾向。関係機関と連携し本人だけでなく家族もケアすべき案件が増加している。 ・先日精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築の研修を受け、八王子市のモデル事業について勉強した。内容として長期入院患者への支援、日中支援型の生活介護の方の送迎問題、場所の確保、ピアサポーターの育成、人材育成などについて学んだ。必要があれば共有する機会を設ける。 ・市内の通所事業所と協議したが、事業所の閉所と計画相談支援事業所の対応格差について話題になった。また利用者の中で通所したい気持ちはあるが自力で通所できず通えないケースが存在するとのことだった。送迎サービスの実施などを検討する必要があるのではないかとのことだった。 ・2月にGHを設立予定で長谷川病院と連携して運営していく予定。長谷川病院が行っているアウトリーチ事業と連動できればと考えている。必要があれば長谷川病院と連絡調整し市に紹介する。 ・現在運営しているコミュニティハウスについて、団体利用などを進めそこにピアスタッフなどを導入し地域に浸透していけるよう活動していきたい。 (3) その他 ○事務局 現在本会是对面、部会はオンラインで運営しているが、具体的な内容を議論する部会を対面にして、本会はオンライン、あるいは対面と混合で開催するのはどうかと考えるが、いかがか。 (意見なし) ○事務局 会長と相談し運営方法について検討していく。 ・次回開催は本会、令和7年9月17日10時～。
提出資料	次第 資料1 小金井市の居宅介護、共同生活援助事業所について（類似団

	体※との比較) 資料 2 精神保健福祉連絡協議会で示された不適切な支援、支援拒否の詳細について 資料 3 精神障害者ホームヘルパー養成特別研修事業の実施について 資料 4 地域移行におけるピアの活用について
--	---